

◆ 学 位	学 位 名	文学修士 大阪大学	
	取得方法	課程 平成2年取得	
◆ 学 歴	大 学	大阪大学文学部哲学科中国哲学専攻 昭和63年卒業	
	大 学 院	大阪大学大学院文学研究科哲学哲学史(中国哲学)専攻 平成2年修了	
◆ 学 内 職 務 (平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>人文社会学部長</li> <li>仏教文化研究所研究員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国語主任</li> <li>教務委員</li> </ul>	
◆ 担当授業科目 (平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>古典Ⅱ(漢文)</li> <li>漢文学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本学基礎演習Ⅰ・Ⅱ</li> <li>国語教材研究論Ⅲ</li> </ul>	
◆ 職務上の実績に関する事項(資格,免許,特許,等)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>高等学校教諭2級普通免許(国語)、中学校教諭1級普通免許(国語)</li> </ul>			
◆ 専門研究分野		◆ キーワード	
中国哲学	日本漢学	<ul style="list-style-type: none"> <li>儒学</li> <li>懐徳堂</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近代儒学</li> <li>泊園書院</li> </ul>
◆ 研究概要	近世・近代の大阪漢学の研究		
◆ 所属学会	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本中国学会</li> <li>日本道教学会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東方学会</li> <li>全国漢字漢文教育学会</li> </ul>	
◆ 主要著書(5件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所,発表雑誌等,発表学会の名称
<ul style="list-style-type: none"> <li>懐徳堂研究</li> </ul>	共	平成19年11月20日	汲古書院
<ul style="list-style-type: none"> <li>白川静の世界Ⅰ文字</li> </ul>	共	平成22年9月24日	平凡社
<ul style="list-style-type: none"> <li>名言で読み解く 中国の思想家</li> </ul>	共	平成24年8月25日	ミネルヴァ書房
<ul style="list-style-type: none"> <li>初級中国語課本(改訂版)</li> </ul>	共	平成26年4月1日	駿河台出版社
<ul style="list-style-type: none"> <li>大学・中庸</li> </ul>	単	平成28年2月25日	角川学芸出版(ソフィア文庫)
◆ 主要論文(5件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所,発表雑誌等,発表学会の名称
<ul style="list-style-type: none"> <li>王符の学問論と「潜夫」の立場と</li> </ul>	単	平成11年6月1日	『中国研究集刊』(大阪大学中国学会)第24号
<ul style="list-style-type: none"> <li>黄遵憲『日本国志』の宗教観—清末外交官の見た神国—</li> </ul>	単	平成19年5月10日	『東方宗教』(日本道教学会)第109号
<ul style="list-style-type: none"> <li>大成会の釈奠—藤澤南岳と山本梅崖と— 矢羽野 隆男</li> </ul>	共	2017年10月	『泊園書院と漢学・大阪・近代日本の水脈』(関西大学東西学術研究所研究叢刊56)
<ul style="list-style-type: none"> <li>並河寒泉の陵墓調査—幕末懐徳堂教授の活動—</li> </ul>	単	平成26年1月31日	『懐徳』(懐徳堂記念会)第82号
<ul style="list-style-type: none"> <li>泊園書院の『大学』解釈—徂徠学の継承と展開と—</li> </ul>	単	平成26年12月15日	『中国研究集刊』第59号

◆ その他（5件程度）			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
幕末における懐徳堂再 ▪ 興運動—並河寒泉日記 『居諸録』に基づいて—	単	平成 20 年 9 月 25 日	『四天王寺大学紀要』第 46 号
「長恨歌」の主題と構成 ▪ —「李夫人」・悼亡詩と の比較から	単	平成 17 年 3 月 8 日	『日本語日本文化論叢 埴生野』（四天王寺 国際仏教大学日本語日本文化専攻）第 4 号
▪ 『凶書編』の成立—その 易学との関連—	単	平成 7 年 4 月 30 日	『中国研究集刊』第 16 号
並河寒泉の政治思想と ▪ 幕府観—鳥羽伏見戦を 中心に—	単	平成 22 年 1 月 31 日	『中国研究集刊』（大阪大学中国学会編集 発行）第 50 号
西村天囚と泊園書院と ▪ —藤沢南岳編『論語彙 纂』への天囚書入れをめ ぐって	単	平成 18 年 4 月 10 日	『中国学の十字路 加地伸行博士古稀記 念論集』（研文出版）